

モダナイゼーションにおける 文字資産の移行 ～ポイントとご提案～

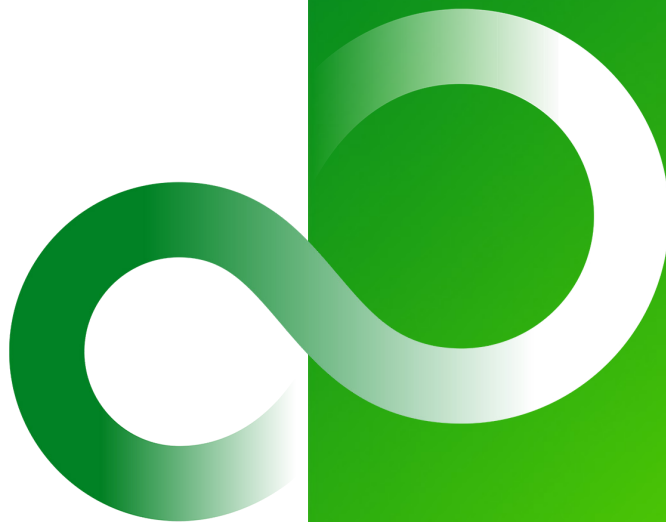
2023年9月

富士通株式会社

【資料サマリ】

システムのモダナイズにおいては文字資産の移行が必要だが、移行の難易度はシステムの性質によって異なる。

本資料では難易度の高い、厳密な字形表現を必要とするシステムでの移行について事例ベースでご紹介。



概要：文字資産の移行

移行対象は、**①システムデータ** **②データを表現している文字セット**。
字形に厳密なシステムは、ミドルウェアの導入だけでは移行が困難。

		外字セット	
		ない or 少量しかない(1880字以下)	大量にある
内 字 セ ツ ト	厳密な字形は不要, JIS第一二水準の 文字を使用 など	単純移行可能。移行先に全文字がある ①データ : ミドルでコード変換して移行 ②文字セット : シフトJIS。外字はミドルで移行 ミドルのみで 移行可能	次頁以降で解説 → ミドルのみでは 移行困難
	厳密な字形が必要, JIS補助漢字/ベンダ 拡張文字を使用 など	単純移行不可。移行先にはない文字の外字化や縮退変換が必要 ①データ : 移行先にはない文字の変換先を個々に定義し、ミドルで移行 ②文字セット : Unicode/JIS2004。不足外字を追加作成し、ミドルで移行	

顧客氏名を正しく表現する必要があるシステム等

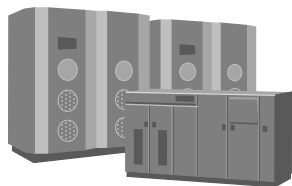
事例：新しい規格の文字セットへの移行

メインフレームのJEFをオープンなJIS2004へ移行するシーンでは、規格違いによる字形差を許容するか、外字化し移行するか、判定が必要。

シーン

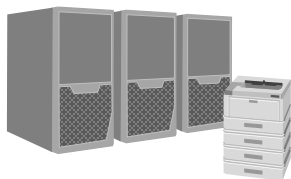
メインフレームシステムのオープン化

メインフレームで構築された顧客管理システムを、Windowsでオープン化。文字は、JIS一三四水準/補助漢字を収録した「JIS2004」が選ばれる。



メインフレームシステム

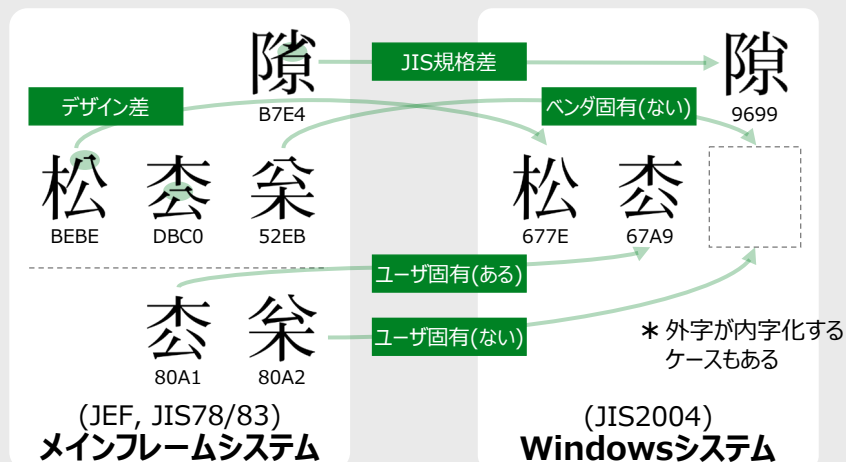
システムのオープン化



Windowsシステム

問題

規格違いによる字形差を許容？ 外字化？



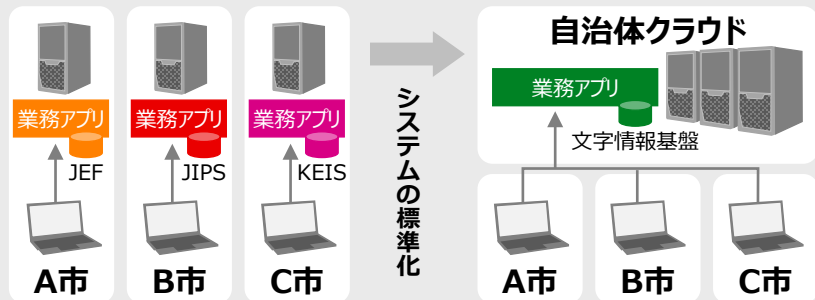
事例：外字が使えない文字セットへの移行

文字情報基盤(豊富な異体字,原則外字不使用)へ移行するシーンでは、字形だけでなく、文字のルーツ等を活用した、高度な対応付けが必要。

シーン

自治体業務システムの標準化政策

団体毎に異なる基幹システムの仕様を標準化し、クラウドによる共同利用を進める政策。文字は、住民氏名漢字を多く収録した「文字情報基盤」で標準化する計画。



問題

字形の類似度だけでは対応付けられない

𪛗

E000

字形は近いがルーツが違う

字形は違うがルーツが同じ

𪛗 章

MJ019343 MJ019332

邊

E001

邊

E002

部品がちよとずつ違う

邊邊邊邊邊
邊邊邊邊邊
邊邊邊邊邊
邊邊邊邊邊

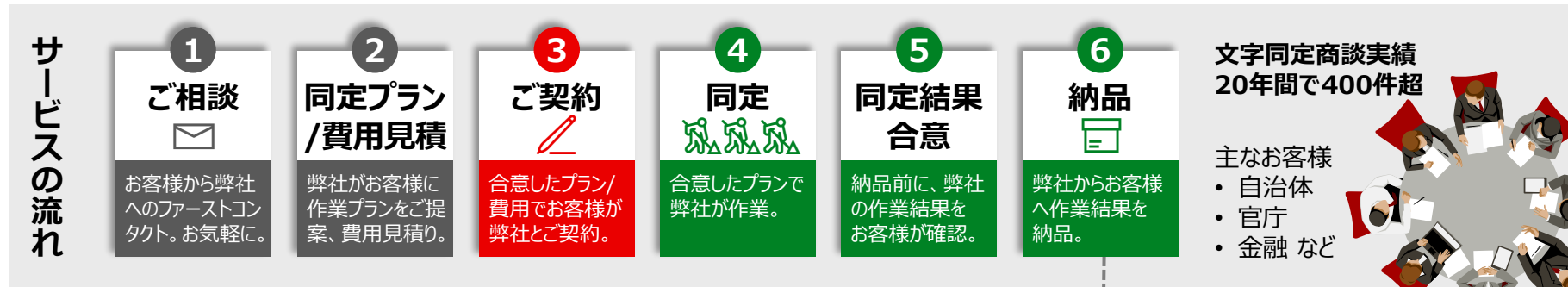
?

(外字, 最大6400字)
現行システム

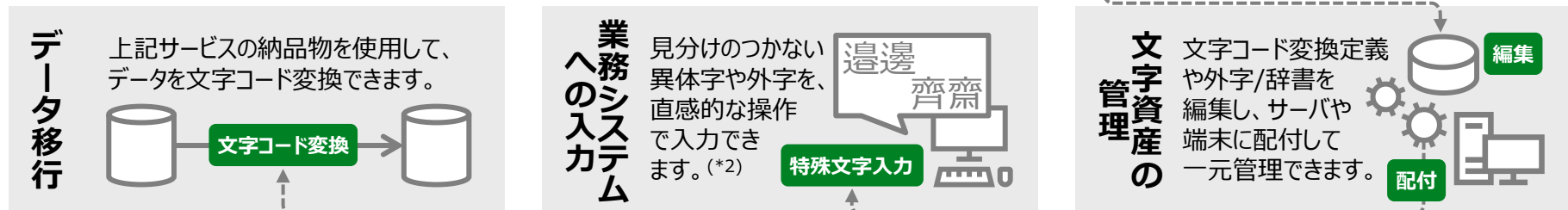
(文字情報基盤, 5.9万字)
標準準拠システム

提案：文字資産の移行/運用を支援する商品

外字環境統合サービス：専門スタッフが文字同定作業(*1)を代行。



Interstage Charset Manager：システムの移行から運用まで支援。



*1 文字同定とは、異なる文字同士の同一視可/不可を判定し、対応付けること。*2 文字情報基盤の入力についてはご相談ください。

Thank you

